



きらきらしはにかむコラム vol.37

「歯の王様」を守ろうも6歳臼歯

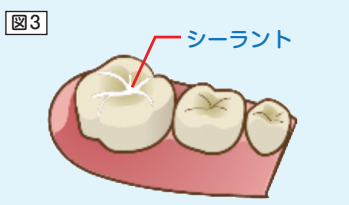
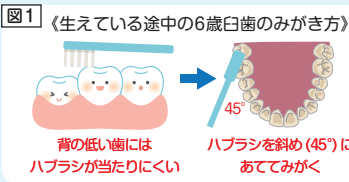
「王様」と呼ばれている歯があるのはご存じですか？
その歯は6歳頃を目安に乳歯の奥にそっと生えてくる永久歯で第一大臼歯といい、生える年齢から6歳臼歯とも言われています。乳歯と勘違いされますが、永久歯ですので、生え変わることはありません。とても重要な歯となりますので、生涯守っていきましょう。

なぜ王様？6歳臼歯の重要な役割とは

- ① 大きくて、力が強い
永久歯の中で一番大きく、かみ砕く力が最も強い歯です。固いものを噛んだり、すりこぎたりして唾液の分泌を促進し消化を助けてくれます。
- ② 歯を整列させるリーダー
6歳臼歯の位置が基本となり、その後の永久歯の位置が決まります。将来の歯並びや噛み合わせの中心となる歯です。
- ③ 成長にも影響
奥歯でしっかりと噛むことは、顎の成長や顔の筋肉の発達を助けてくれます。顔の形にも影響します。
- ④ 食べる機能に影響
6歳臼歯を一本失つと、咀嚼効率は2/3以下に落ちると言われています。生涯を通じて食べるためには、守らなければならぬ歯といえるでしょう。

6歳臼歯がむし歯になりやすい理由

- 乳歯の後ろに生えてくるため生えてきている事に気づきにくい
- 生えたとの歯はやわらかく酸に対する抵抗力が弱い
- ゆっくりと生えるので、むし歯になりやすい時期が長く続く
- 奥に生えるので歯ブラシが当たらず、磨きにくい
- 噛み合わせの溝が複雑で深く汚れがたまりやすく、磨き残しが多くなる
- 行動が自由になりお菓子や糖分の多い飲み物の管理が難しくなる
- 歯みがきを子どもに任せきりにしてしまふ



一般社団法人
四日市歯科医師会
〒510-0093 四日市市本町9番12号
☎059-354-8512

四日市歯科医師会 検索

今回お話ししてくれた先生

歯科衛生士 毛利志乃

● フッ素の利用
生えたとの歯には歯の質を丈夫にするフッ素が効果的です。この時期はフッ素が歯によく取り込まれますので、高い効果が期待できます。家庭ではフッ素配合歯磨き剤やフッ素洗口液の使用、歯科医院などでフッ素塗布を行うとよいでしょう。

● シーラント
歯の噛む面は深く、複雑になっている場合がありますので、必要に応じて、歯の溝にシーラント(合成樹脂を埋め込む)を行い、細菌や食べ物の侵入を防ぎ、むし歯を予防する方法です。まずは、歯科医院で相談してみてくださいね。(図3)

まとめ
6歳臼歯の生える頃になると自立心の芽生えなどから、仕上げ磨きを嫌がったり、小学校入学などで環境が変化することで歯磨きがおろそかになり、むし歯がでやすくなります。仕上げ磨きをしっかり行い、大切な「歯の王様」を守ってあげましょう。

Recruit Guide

もう一度、歯科業種に戻ってきませんか??みなさまがお仕事復帰できるようにお手伝いします。

歯科医師	歯科衛生士	歯科技工士	・何年も歯科業界から遠ざかっていて また復帰できるか不安... ・長い期間離れていたのでは今さら勉強できるか不安... ・働く前にどんな医院か見てみたい... ご相談はお気軽にご連絡ください
歯科助手	歯科受付	など	

